

事業概要：将来に希望が持てる持続可能な一次産業づくり事業

継続

申請者	大分県中津市					初回採択回	令和7年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	126,894千円 (43,828千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 一次産業の担い手の確保・育成や、事業継承のサポートにより、安定して一次産業を継続できる環境をつくる。 ・ 生産者が一次産業に希望を持って従事できるよう、地域で生産される製品の認知度向上と高付加価値化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農家の担い手確保対策、事業継承サポートを支援する。 水産業の担い手確保と安定経営のための支援をする。また、イベント開催等により消費拡大と流通促進を図る。 「九州・中津ブランド」の推進による地域産品の高付加価値化や、認証品の質の向上及び品目数を拡大し、認知度向上と販路拡大を図る。 酪農業の持続可能な経営に向けた取組を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ソフト事業 ○農業の担い手確保と事業継承に関する事業 ・農家の担い手育成・経営継承サポート（補助金）13,648千円 ○水産業の担い手確保と流通促進に関する事業 ・情報発信や消費拡大のためのイベント（委託料）2,000千円 ・地元水産物の販路拡大支援（補助金）950千円 ○地元産品の高付加価値化に関する事業 ・認知度向上と販路拡大支援（補助金）14,900千円 ・商品開発（補助金）6,800千円 ・認証品審査（謝礼、委託料など）730千円 ○酪農業の持続可能な経営に向けた取組の推進 ・優良後継牛の導入にかかる経費を支援（補助金）4,800千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（＋7億円） ②果樹農家における59歳以下の人員（＋2人） ③水産業新規就業者数（＋1人） ④ブランド認証品売上額（＋724万5千円） ⑤農作業サポーターマッチング農家数（＋15戸）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city-nakatsu.jp/doc/2025070400022/ https://www.city-nakatsu.jp/doc/2017030100042/

事業概要：「しもげワーク&ライフ」快適化推進事業

継続

申請者	大分県中津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	68,865千円 (21,892千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 旧下毛地域（三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国）において、買物や移動手段に対して問題を抱える生活弱者を支援することにより、安心して住み続けられる環境づくりを進める。 - 旧下毛地域における創業や事業継承を支援し、各地域における就業の確保・維持に努める。 - 旧下毛地域内に居住すると同時に、就業や買物など、地域内で完結できるライフスタイル「しもげワーク＆ライフ」を推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 移動販売車や宅配サービス等を活用した買物支援事業を実施する。 創業及び事業継承を支援することにより、店舗の開設・既存の商店等の経営継続を図るほか、地域の雇用創出に努める。 デマンド型運行を導入し、移動ニーズに対して効率的に運行することで、地域の魅力向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ソフト事業 ○耶馬溪地域・山国地域における買物支援に関する事業 ・耶馬溪地域における買物支援（委託料） 4,707千円 ・山国地域における買物支援（委託料） 451千円 ○旧下毛地域における創業・事業継承支援補助金 ・生活の利便性を向上させる事業または、観光に資する事業における創業及び事業継承をする者への支援（補助金） 5,000千円 ○旧下毛地域におけるデマンド交通導入に関する事業 ・本耶馬溪地域・耶馬溪地域におけるデマンド交通の導入費用（委託料） 11,734千円						
主なKPI	①旧下毛地域の総世帯数（+25世帯） ②旧下毛地域における創業・事業継承件数（+18件） ③耶馬溪地域における移動販売サービスの延べ利用者数（+170人） ④デマンド交通の利用者数（+8,694人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city-nakatsu.jp/doc/2025070400022/ https://www.city-nakatsu.jp/doc/2017030100042/

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：学びの里なかつ推進（学びによるWell-Being向上）事業

継続

申請者	大分県中津市					初回採択回	令和7年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	100,112千円 (35,083千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・福澤諭吉をはじめとした多くの先哲、偉人を輩出してきた学びの土壌があるまちとして、子どもや若者に学びと成長の機会を創出し、ひととまちがともに発展するまちを目指す。 ・幅広い年代を対象に、様々な分野での講座、教室、体験などの学びの機会を創出し、地域社会での活躍や貢献、地域課題の解決につなげ、心豊かな安心な暮らしを実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民講座や企画展の開催、さらに中津市にゆかりのある著名人等を招いて、講演会、講座を開催する。また、三津同盟の連携協力を図るため、シンポジウムを開催し、学术交流や観光振興に努める。 高齢者などを対象に、専用車両の中でスマホの操作を学べる移動型スマホ教室に取り組む。 コミュニティーセンター等において様々な講座・教室等を開催する。また、身近な学びで暮らしを豊かにする機会を創出するため、時代や住民のニーズに応じた学びを提供する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ソフト事業 ○中津の「学びの土壌」の豊かさを実感できる取組 ・市民講座等の開催 4,700千円 ・企画展示の実施 16,455千円 ・中津文化会館において開催する講演・講座等 1,100千円 ・三津同盟に関する経費 419千円 ○暮らしの中に活かす学びの取組 ・英語に慣れ親しむ機会の提供 264千円 ○市民の学びたい意欲を実現する取組 ・コミュニティーセンター等での講座・教室の開催 6,256千円 ・学びの里なかつ推進事業に係る経費 5,889千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域幸福度Well-Being指標の「自己効力感」の主観データ指標（+25.2ポイント） ②地域幸福度Well-Being指標の「幸福度」（+0.3ポイント） ③中津市歴史博物館の年間入館者数（+6,000人） ④新中津市学校の年間利用者数（+1,500人） ⑤オンライン講座・セミナー等に参加した市民（+450人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city-nakatsu.jp/doc/2025070400022/ https://www.city-nakatsu.jp/doc/2017030100042/

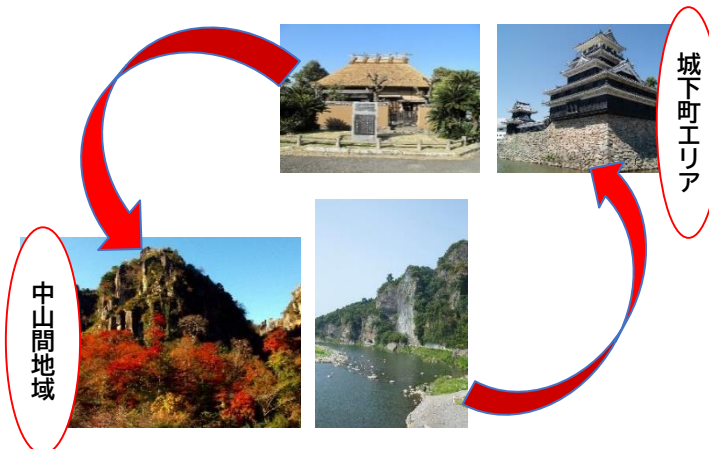
事業概要：多様な人材が活躍できるまちづくり事業

継続

申請者	大分県中津市					初回採択回	令和7年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	14,389千円 (5,040千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 多文化共生実現をテーマとしたセミナーの実施や、外国人住民と地域住民のコーディネート、日本語で気軽に会話できるカフェの運営等の「多文化共生推進事業」を実施することにより、地域住民と外国人住民が相互に理解し、尊重しながら生活を送る「多文化共生のまち」の形成を目指す。 ・ 女性による創業・起業を支援し、女性が活躍できるまちとしての魅力を高め、女性の人口流出抑制につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中津市に在住する外国人や地域住民の、多文化共生社会形成に向けた意識啓発を図るとともに、日本語カフェの運営により、外国人住民の日本語習得に向けた環境整備を行う。 創業・起業を目指す女性の掘り起こしと育成、機運醸成のためのセミナーや交流会を開催する。女性起業家による成功事例を多く積み上げ、「女性が活躍できるまち」になるよう、ステップアップを図る。					多様な人材が活躍できるまち「なかつ」 国籍問わず、多様な文化の人が活躍できるまち 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ソフト事業 ○女性や外国人が働きやすい職場環境づくり事業 ・女性起業家向けのセミナー受講及び市内に創業する者への支援 (補助金) 3,000千円 ・外国人従業員向けの体験講座の開催 52千円 ○外国人が安心して日常生活を送ることができる体制整備事業 ・セミナー開催、地域住民と外国人住民のコーディネート、日本語カフェの運営等の実施 (委託料) 1,988千円					女性が活躍できるまち 	
主なKPI	①中津市内の外国人人口 (+1,000人) ②女性創業・起業支援事業における創業件数 (+18件) ③Well-Being指標における、中津市内の「女性が活躍しやすい」の項目の偏差値 (+1.5)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city-nakatsu.jp/doc/2025070400022/ https://www.city-nakatsu.jp/doc/2017030100042/

事業概要：「中津に泊まって丸ごと観光」推進事業

継続

申請者	大分県中津市					初回採択回	令和7年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	501,778千円 (66,900千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ 歴史文化の豊かな城下町エリアの資源を活かして、インバウンド誘客や周遊推進を図るとともに、観光消費につながる新たな事業者の取組支援により、魅力向上に取り組む。 ・ 中山間地域における交流人口・関係人口拡大を目的としたイベント、事業等の創出を図るとともに、青の洞門周辺を一望できる拠点整備を行う。 ・ 市内各所における観光資源の魅力を高め、「市内に宿泊して、市内の全ての観光スポットを一度に楽しみたい」と思ってもらえる体制づくりに取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「民間計画地」を整備するとともに、観光スポットの充実により、日帰り旅行などの「通過型観光」から、宿泊を伴う「滞在型観光」への移行を図る。 観光消費につながる新たな事業者の取組支援により、観光資源としてのより一層の魅力向上に取り組む。 またクルーズ船の歓迎イベント等の実施により、インバウンド誘客を促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ソフト事業 ○城下町エリアの交流人口創出・拡大事業 ・観光イベント等の実施 33,902千円 ・インバウンド観光客の誘客促進、受入態勢の整備 5,780千円 ・クルーズ船の歓迎イベント等による、城下町への誘客促進 2,799千円 ○中山間地域における交流人口創出・拡大事業 「メープル耶馬サイクリングロード」におけるイベント実施や、イベント実施者への支援 3,930千円 ・日本遺産の継続認定審査に向けた取組（補助金） 4,488千円 ・旧下毛地域において、地域が主体となって行う地域活性化の取組支援（補助金） 16,001千円 拠点整備事業 旧レストハウス洞門跡地に「民間活用地」を整備 交付対象事業経費 0千円						
主なKPI	①市内宿泊客数（+ 30,000人） ②外国人宿泊客数（+ 3,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city-nakatsu.jp/doc/2025070400022/ https://www.city-nakatsu.jp/doc/2017030100042/

事業概要：地域の高校をハブとした「教育×地域づくり」事業

新規

申請者	大分県中津市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	482,178千円 (69,139千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ 同校に県外からの生徒を受け入れる環境・体制を整備し、減少する生徒数に歯止めをかけるとともに、地方への人の流れを創出する。 ・ 生徒が地域活動のハブとなり、資源や人の交流を加速させる。また、この活動が地域の魅力を高めることにつながり、新たな生徒を呼び込むという好循環につなげる。 ・ 地域での高校生活や住民との交流を通じて、関係人口創出、卒業後も地域で働き活躍できる人材を育成し、地場産業の人材不足の解消につなげる。小さな分校の特性や魅力を活かした取り組みを大きな推進力にして、将来にわたって持続可能な地域づくりを進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・ 中津南高等学校耶馬溪校における生徒の全国募集にあたって、既存の教員住宅を改修した仮設の学生寮の運営を行うとともに、並行して、受入生徒を拡大するため、地域の交流拠点としての機能を併せ持った学生寮の整備を行う。 ・ 「耶馬溪校見守り隊」などが主体となって、学生の寮での生活をサポートするとともに、地域住民との交流機会を創出することで、多感な高校3年間を過ごす地域に愛着を持つ人材を育成する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ 「耶馬溪校見守り隊」と連携した生活支援及び見守り活動費（委託料）5,099千円 ・ プラットフォームを活用した広報・生徒誘致活動の展開（負担金）660千円 ○拠点整備事業 ・ （仮）中津南高等学校耶馬溪校学生寮建設における費用 実施設計委託料 15,000千円 建設工事費 19,880千円 解体費 28,500千円						
主なKPI	① 耶馬溪地域の人口（+75人） ② 県外から中津南高等学校耶馬溪校への入学者数（+8人） ③ 卒業後に定住自立圏内の事業所に就職した人数（+42人） ④ 地域との交流活動への延べ参加者数（+160人） ⑤ 寮生の将来的なU・Iターン希望率（90%）					URL	令和8年11月公表予定
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL							

事業概要：移住定住促進×シティプロモーション×地域の産業力向上によるまちの活性化事業

新規

申請者	大分県中津市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	44,303千円 (14,101千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市における特長でもあるものづくりを中心とした製造業において、将来にわたり持続可能なものとするための若い世代の人材が確保され、稼ぐことができる地方都市となることを目指す。 ・製造業のみならず、多種多様な産業における企業が市内に充実するとともに、「共働き・子育て」の達成やワークライフバランスの充実などの働きやすい職場環境づくりが図られることにより、選ばれる地方都市となることを目指す。 ・移住・定住を希望する方に対し、相談支援機関による充実した支援体制が図られることにより、Uターンのみならず、Iターン、Jターンといったさまざまな形態でその希望が実現できるまちとなることで、移住の更なる促進を目指す。 ・移住希望者や市外在住者向けに、Instagramやnoteなどの新しいSNSを活用し、より魅力的な情報発信を行うことにより、シティプロモーションの充実を図るとともに、市民もその魅力を改めて知ることにより、シビックプライドが醸成され、中津市のまちを誇りに思うことができる方が増えることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・若い世代の人材流出の防止と、各企業の安定的な人材確保等により、持続可能な産業維持のための人材確保、基盤づくりを図る。 ・市内産業の魅力発信に向けた情報発信や、有資格者及び求職者と企業の人材マッチングを行う。 ・移住・定住支援体制の強化や、シティプロモーションの充実によるまちの魅力発信の強化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・持続可能な産業維持のための人材確保、基盤づくりに関する事業 企業合同就職説明会の実施 2,335千円 市内企業見学バスツアーの実施 183千円 ものづくり事業の魅力発信に向けや小学生向け体験授業の実施 671千円 創業支援セミナーの実施 1,617千円 ・市内産業における情報発信や人材マッチングに関する事業 人材バンク就職支援の実施 3,322千円 若年者向け就職支援サービス提供 3,208千円 市内企業情報の発信 497千円 ・移住定住の促進・シティプロモーション（まちの魅力発信）に関する事業 移住・定住支援に向けた相談支援体制の強化 1,923千円 SNSを活用したシティプロモーション（まちの魅力発信） 345千円						
主なKPI	①新規雇用創出数（+300人） ②移住支援による移住者数（+108人） ③中津市公式Instagram「移住のすゝめ」、中津市公式noteのフォロワー数の合計（+450） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定